

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2023」

入賞作品として「TVF2023 アワード」(37 作品) を決定

- 応募総数は103作品 — 11歳の小学生から93歳のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 入賞は10～20代の若い世代から最多19作品、60代以上のシニア世代からも12作品
- 社会問題を歴史・現代視点から捉える作品、地域の居場所や自分をテーマにした作品が入賞
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2023 フォーラム」をオンライン形式で開催(3/19(日))
～「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」もライブ配信～

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事:小林はくどう)が主催する、今年で14回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2023」(TVF2023)には、103作品(国内:102作品/海外:1作品)が寄せられ、このたび、入賞作品となる「TVF2023 アワード」として37作品を決定しました。入賞37作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述)にて決定・発表します。

入賞者とビデオファンが集う、TVF恒例の一大イベント「TVF2023 フォーラム」は、来る2023年3月19日(日)に開催。現在の社会情勢を鑑み、前回に引き続き、今回もオンライン配信による実施となります。

「TVF2023 フォーラム」では、「特別賞」(TVFジャーナリズム賞、市民賞)と「ビデオ大賞」の発表、さらに入賞者や審査委員、視聴者のどなたでも自由に参加できるトークを予定。「TVFジャーナリズム賞」の発表に際しては、専任審査委員によるトークも実施します。そして、審査委員が「ビデオ大賞」を審査・決定・発表する「公開審査会」もライブで配信します。

また前回に引き続き、当法人の公式ホームページにて3月13日(月)より、「TVF2023 アワード」に選ばれた37作品を題材に入賞者と審査委員が映像制作について語り合った「セッション」の収録映像を公開します(Web配信)。「セッション」は入賞作品の内容に応じて「地域・社会(歴史)」「地域・社会(現代)」「地域・コミュニティー(居場所)」「地域コミュニティ」「自分を見つめる」「創作表現」の4つのテーマを設定し、6部構成を予定しています。

■「TVF2023 フォーラム」の概要(予定)

[日時] 2023年3月19日(日) 15:00～

[主な内容] 「特別賞」の発表、「ビデオ大賞」の公開審査会と発表、自由トーク

[開催形式] オンラインによるライブ配信

[視聴方法] 当法人の公式ホームページにてお知らせします(3月上旬予定)

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・発表

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表:「TVF2023 フォーラム」の審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」(TVFジャーナリズム賞、市民賞)の発表:「TVF2023 フォーラム」にて。

「東京ビデオフェスティバル 2023」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数：103 作品（国内：102 作品／海外：1 作品）。
- ・* 前回：110 作品（国内：108 作品／海外：2 作品）。

2. 応募世代

11 歳の小学生から 93 歳のシニア層まで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・高校生や大学生を中心とする 20 代までの若い世代から約半数となる 45 作品（全体の約 44%）。
- ・30～50 代のミドルエイジから 17 作品（同 約 17%）。
- ・60 代以上のシニア世代から 37 作品（同 約 36%）。
- ・年齢不明は 4 作品（約 3%）

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 68 作品が寄せられ、全体の約 66%。
- ・その他、ドラマ 23 作品（同 約 22%）、CG／アニメーション／アート 12 作品（同 約 12%）。

「東京ビデオフェスティバル 2023」入賞作品・入賞者の傾向

1. 10～20 代の若い世代から最も多い 19 作品が入賞

今回は、10～20 代の若い世代から最多となる 19 作品が入賞となりました。また、60 代以上のシニア世代は 12 作品、30～50 代のミドルエイジから 6 作品がそれぞれ入賞しています。

2. まさに“ドキュメンタリーの TVF”、ドキュメンタリーから 27 作品が入賞

今回も、まさに“ドキュメンタリーの TVF”となりました。応募作品全体の約 7 割を占め、秀作・良作ぞろいだったドキュメンタリー作品から 27 作品が入賞。他のジャンルでは、「ドラマ」から 8 作品、「アニメーション」から 2 作品が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 地域や社会の問題を、過去の歴史、あるいは現代の視点から取り上げた入賞作品（12 作品）

ウクライナで戦争が起きている今日、幅広い年齢層の作者が、戦争や平和について考えた作品が多く入賞しています。太平洋戦争の空襲、広島での平和学習、従軍看護婦などに及んでいます。歴史では明治時代の築地での西洋家庭料理の再現、沖縄返還 50 周年などです。また、香港民主化運動、技能実習生、移民難民、水俣病患者、中国残留孤児、セクシャルマイノリティなどの社会問題を捉えた作品も多数入賞しています。

2) 地域やコミュニティをテーマに取り上げた入賞作品（12 作品）

子ども食堂や高齢者施設などさまざまな地域の「居場所」に目が向けられ、地域の問題を捉えた作品から、学校や地域のコミュニティでの活動を取り上げた作品が入賞しています。また、地域ならではのエピソードが溢れた作品では、珍しいカジカガエルの生態、ホームレスだった人の床屋ボランティア、コロナ禍から元気になろうと中学校生徒会による映画作り、障害者や難病に立ち向かっている人との対話もあります。

3) 自分を見つめた入賞作品 (6 作品)

映像を通じて自分自身について語る作品から、“自分”の気持ちをテーマにしながら、ドラマ仕立てや巧みな表現方法にチャレンジした作品が入賞しています。発達障害の私、幼い子どもの心、夢の世界の表現、米寿を過ぎた一人暮らし、亡くなった父の記憶と記録、幼いときの記憶と現在、などがあります。

4) 創作表現の入賞作品 (7 作品)

今回はドラマやアニメーションなど創作表現に優れた作品も多数入賞しています。マンガと実写を組み合わせたオムニバス、作者が主演で通りすがりの人に撮影を頼むハプニングドラマ、ヤングケアラーの進路に悩む青春、家族総出演による出生の秘密、家族朝食のホラー、怪奇コマ撮りアニメ、クラスによるワンシーンワンカット合成などがあります。

■「TVF2023 フォーラム」プログラム (予定)

●2023年3月19日(日) / 15:00~18:00 *オンライン配信

〈進行〉

- ・15:00~16:00 開会宣言、主催挨拶
「特別賞」(「市民賞」・「TVF ジャーナリズム賞」)の発表、
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員によるトーク
- ・16:00~17:30 公開審査会、「ビデオ大賞」決定、上映
- ・17:30~18:00 自由トーク
- ・18:00 閉会

■入賞作品の公開 (Web 配信)

- ・当法人ホームページにて入賞した37作品を公開中 (Web 配信)
当法人ホームページにて、入賞37作品の映像と作品解説を公開中です。
※今回の全応募作品も合わせて公開しています。
- ・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL

URL <https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員 (五十音順・敬称略)

小林 はくどう (ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授)
佐藤 博昭 (ビデオ作家・武蔵大学 講師)
津野 敬子 (ビデオ作家・DCTV 共同代表)
村山匡一郎 (映画評論家)

(アドバイザー)

椎名 誠 (作家)
羽仁 進 (映画監督)

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員 (敬称略)

神保 哲生 (ビデオジャーナリスト)
筑紫 ゆうな (切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員)
長野 智子 (キャスター)
下村 健一 (市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授)

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」
「TVF2023 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2023 アワード」
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」
特別賞。「TVF2023 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2023」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来通算 45 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 14 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

* 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。

<「TVF2023 アワード」(37 作品) 一覧>

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
1	心をつなぐ地域の交流拠点 「わいわい子ども食堂」の5年間	有沢 準一	85	15:06	北海道
2	山頂番屋物語	石川 勝	68	18:43	栃木県
3	愛しの「Betrayal」・愛しのLoyalty	埼玉県立芸術総合高等学校 映像芸術科 21 期メディア表現専攻 (代表：真木万由子)	—	9:43	埼玉県
4	火曜日ブルー	穂苺 真澄 (東京造形大学)	20	15:14	埼玉県
5	終焉の旅	富田 宏	78	10:00	埼玉県
6	変わらぬ日々	大江 翔、高上 雄太	—	13:05	東京都
7	“桜守” のいる屋台	古屋 蓮 (上智大学)	22	19:58	東京都
8	戦争はいけない No War !	鈴木 賢士	90	12:00	東京都
9	集う 笑う ゆうゆう	藤本 溪太 (成安造形大学)	23	13:18	東京都
10	陽菜のせかい	佐藤 陽子	41	16:32	東京都
11	ふるさとを求め続けて ～中国残留孤児のいま～	上智大学水島ゼミ 基町団地班	—	18:58	東京都
12	香港人	中崎 太郎	36	19:58	東京都
13	マンガガールズ	大門 嵩、祁答院 雄貴	—	9:45	東京都
14	水俣と生きる ～第1話 水俣病と宝物～	倉持 陽菜子 (上智大学)	22	14:55	東京都
15	よみがえる明治の西洋レシピ ～築地居留地の今昔物語～	東京大学大学院情報学環教育部 顧羽・佐野 ちあき・直島 朋弘・東出 りさ	—	14:23	東京都
16	REM れむ the waves of endless dreams (MK バージョン)	相内 啓司	73	12:13	東京都
17	One Day Event ・ある日の出来事	小川 旭	75	6:35	東京都
18	サヨナラ、いっさい	渡邊 高章	46	8:20	神奈川県

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
19	STOP MOTION 3	川口 明日香 (神奈川県立相模原弥栄高等学校)	18	10:46	神奈川県
20	高松大空襲 そのとき母は	せいりょう	78	8:08	神奈川県
21	時を紡いで	中野 ちさと (上智大学)	20	20:00	神奈川県
22	陽の当たる場所へ —避難民・難民支援の光と影—	専修大学 放送学ゼミ	—	19:58	神奈川県
23	沖縄を救った日系人 —比嘉太郎—	田村 千尋 (敬和学園大学)	21	18:44	新潟県
24	時間をかけて、少しずつ	桜丘高等学校 放送部 テレビドキュメント班+OG	-	20:00	三重県
25	その時を生きた天使たち	安田 昇	93	18:39	三重県
26	えがお つなぐ えんがお	佐藤 虹 (大阪芸術大学)	20	10:38	大阪府
27	米寿を越えて	合原 一夫	89	19:50	大阪府
28	わたしを撮る	入船 悠 (大阪芸術大学)	21	17:25	大阪府
29	溪流に生きる —カジカガエル—	谷口 正治	72	7:15	兵庫県
30	個性であること	谷本 菜々美・小林 愛依 (関西大学)	-	18:21	兵庫県
31	技能実習生はベトナムのお母さん	山口 大輝 (広島学院高等学校)	16	16:52	広島県
32	治山ダム ～逃げるが勝ち～	日高 道德	70	11:41	広島県
33	難病とげんきなこ ～幸せの量は人生の長さではない～	広島経済大学山田哲敬ゼミナール 西野 真李花・高牟禮 晟琉・梶岡 尚大	—	20:00	広島県
34	平和の軸線	広島市立牛田中学校放送部	—	9:32	広島県
35	IKI IKI HEROES	福岡市立壱岐中学校放送部	—	10:28	福岡県
36	今日も私は床屋さん	永田 隆二	73	9:59	福岡県
37	松の樹の下で Under the Pine Tree	国本 隆史	41	19:45	ドイツ

注)・作者名敬称略。国内・海外の順で記載。また国内は北から都道府県順で記載。同じ国/都道府県は作品名の五十音順で記載。